ふれi 本の森だより

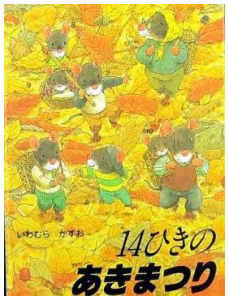
令和4年10月5日
愛知県立岡崎聾学校
教務部

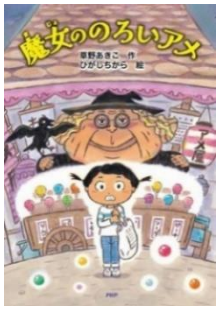
この秋、じっくり読める一冊に出会おう！

みなさんは、秋といえば何を思い浮かべますか？　秋はさまざまなことに打ち込むのに、とても適した季節だと昔から言われています。そのため、「読書の秋」、「スポーツの秋」、「芸術の秋」、「食欲の秋」など多くの表現がされます。夏の厳しい暑さが少しずつ和らいだこの時季に、じっくり読書を楽しみませんか？　ふれｉ本の森でこの秋にぴったりの一冊を探しましょう！

秋にまつわる本を探そう！

文化祭にハロウィーンなどの楽しい行事もあるね！





この本を読もう！

牧野富太郎さんの94年の人生をひと足早く追いかけてみませんか？

『牧野富太郎　日本植物学の父』(汐文社)

みなさんは、牧野富太郎さんをご存じですか？ 来年のNHKドラマのモデルになることが発表され、今話題となっています。

幼い頃から野山を駆けまわり、草木を写生したり、「博物図」を読みふけったりし、「まだ名のない植物を見つけて名前をつけたい」という夢をもつ富太郎。その後、「雑草という名の草はない」と日本全国の野山を歩き 40万点の標本を分類し、1500種類の植物に名前をつける。ケヤキ、キンモクセイなども彼が命名。また、植物採集に蝶ネクタイにハットというスタイルで正装して行くほど、植物を愛していたというエピソードも有名。しかし一方で、研究に没頭するあまり妻子は借金に追われる生活に。それでも、植物に対する情熱だけは失うことがなかった。

テスト期間中、ふれｉ本の森で自習する中学部・高等部

今夜の月は
どれだろう？

この本を選びました！

夏休み中の課題として取り組んだ読書感想文の中から友達、先輩の作品の一部を紹介します！

『元女子、現男子。』（木本奏太　かなたいむ。/著）

YouTube をきっかけにこの本を知り、すぐ手に取りました。最初に感じたことは、自分らしく生きるって簡単そうで難しいということです。そして、私たちの一方的な思い込みが、誰かの自由を奪ってしまう可能性があるのだと思いました。印象に残ったのは、自身の性別について親に手紙で伝えるところです。普段は手話を使っているのに、その時ばかりはうまく伝えられる自信がなかったのです。その後、他人と違うからと否定するのはおかしいと考える母、何も言わず静かに受け入れてくれる父、その温かさに胸を打たれました。葛藤からほんの少しだけ解放されたのだろうと想像しました。

『夜に駆ける YOASOBI小説集』（星野舞夜 ほか/著）

YOASOBI の楽曲が好きなので、本屋でこの本を見つけたときはテンションが上がり、思わず声を出して喜びたくなりました。家に帰り早速読んでみました。文章を目で追っているだけで頭の中にメロディーが流れてきて、お花畑や自然豊かな風景をイメージしました。

そしてこの夏、書かれていることを実行してみました。今まで自分からあまりやってこなかったことです。すごく勇気がいるんだと気づきました。でも、「なんかいい！」とすっきりした後味になりました。

校務補助員さんより

ふれｉ本の森が秋バージョンに少しずつリニューアルしていることを知っていましたか？ 気づいてくれたらうれしいな。

秋に関する本を、本棚の上に並べたので、ぜひ借りに来てね！

また、掲示板では「愛知の高校図書館 貸出ランキング2022」の特集をする予定です。みんなが読んだことのある本はあるかな？ 確認しに来てね！

第2回の読書週間は、11月1日（火）～18日（金）です。この機会にいろいろなジャンルの本を読んでみませんか？

みんながクイズに答える姿などが見られてうれしいです。楽しめる空間をこれからも作りたいと思っています。